

水野さん、お元気ですか？ わが家は、あかせさまで毎日笑顔で過ごしています。

水野さんにお会いしたのは、■■■が2年生の時でしたね。今日4年生になり、元気に「行ってきます。」と学校に行き、友達と遊び、とても生き生きとしています。私も子どもの成長が見ることができ、子育てって楽しいねと毎日実感しています。

以前の私は子どものためと思い、学校から帰ると「今日宿題はあるの？」「遊びに行く前に宿題やりなさい。」「先にやってあげれば楽しい。」と口うるさく言い、朝は「忘れ物はない？」「名札は？ 習字道具は？」「ほら、学校行く時間よ！」とずーっと子どもを見つづけ、失敗しないよう先々に口を出し、子どもが失敗して何か人に言われたらかわいそうと思っていました。

その頃の子どもは新しいことをする時、遠足に行く時、もし、こんなことがあったらどうしよう？ もし忘れ物したらどうしよう？ 「いやなこと言う子がいるから学校がたご」といろいろと考えすぎて動けなくなっていました。私は、何でもうちの子はこんな風に心配性なんだろう。心配しないようにあれこれと私が言っているのに、何でもまだ先のことばかり言うのだらうと思っていました。思えば幼稚園のときからこんな感じでした。

そんな時に、考えてみて下さい。お母さんが心配性では  
ありませんか？先のことばかり考えて子どもに「...しなさい」  
「...は大丈夫？」と言っていないですか？と言われ、は、と自分を見つめ  
直すことができ、私がとんでもない心配性だったんだと  
気づかせていただきました。

お母さんは、自分のやること(掃除やごはんを作ったりなど)をやって  
いけばいいのですよ、と教わりそうしていると、子どもは  
いつの間にか宿題をして時間割をあわせていました。

また、子どもにどんどん失敗させること！それで子どもは  
頭を使って、考えていくんだと教えていただき、私は子どもの持ち  
物のことも見なくなりました。すると子どもは「毎、名札忘れてた。」と  
言った次の日「名札、名札」と言いながらつけていました。家を出たあと  
絵の具をとりにもどったりしたこともあります。「隣の人に教科書見せて  
もらった。」ということも。子どもは本当にたくましくなってきました。  
水野さんに「■■■は先のことを考えようよなあ。これが終わって  
から次のことを考えよう。」等の時になって考えよう。」とご指導して  
いただき■■■は先のことばかりなくなりました。子どもって  
本当にすごいですね。親次第でこんなにも変わっていく  
ですね。

水野さん、本当にありがとうございました。

これからも、子育て、家庭教育について悩んでいる親のため、  
子どもたちのためにご活躍されること、心よりお祈りして  
います。